



かんせいちゅうがっこう

寛政中学校だより

第2号

2019年 5月24日

横浜市立寛政中学校

ぜんしん かんどう かんしゃ 前進・感動・感謝

かぜかお がつ かくがくねんこうがいがくしゅうしゅうりょう ～風薫る5月：各学年校外学習終了～

こうちょう もり かつよし
校長 森 勝義

はじめに、「寛政中学校だより第2号」の発行が月例下旬になりましたこと、お詫び申し上げます。10連休後、立て続けに各学年の校外学習が計画されていまして、発行が遅くなり申し訳ございません。保護者の方々や配布していただく地域の方々にご迷惑をおかけいたしました。次号からは定期的に発行いたします。

さて、各学年の校外学習ですが、1学年は昨年までの校外学習を見直し、泊を伴わずに、5月10日「こども自然公園青少年野外活動センター」に行き、ポイントラリーや野外炊事、大縄跳びなどを体験し、新しい友達や先生方とのふれあいを通して信頼関係を構築し、学年の絆を作りました。

2学年は5月17日東京遠足を実施しました。「㊦いせいに判断し、㊦ろいろな人と交流し、㊦かりあおう～東京見学2019～」のスローガンのもと、新しいクラスの仲間と親睦を深め、班行動を通して、集団行動の大切さを再確認しました。2020年東京オリンピックを目指して、世界一の都市を作る計画が具体化してきている首都東京を見学して、その素晴らしさを実感しました。

3学年は5月14日から岐阜県飛騨高山へ修学旅行に行ってきました。横浜市内中学校は147校ありますが、飛騨高山方面への修学旅行は寛政中学校ただ1校のみです。その歴史は古く、寛中40周年誌を紐解くと、平成4年秋田・田沢湖への修学旅行から、田沢湖畔の民宿で、現在の体験学習が始まり、慣れない泥の感触を確かめながら、泥だらけになって植えた田植えや、劇団わらび座で「寛中ソーラン節」を大きな掛け声と共に力一杯踊ったと、記述してあります。私自身、3回目となる修学旅行でしたが、毎年感じることは、民宿の方々の温かいおもてなしや笑顔を受けて心が洗われることです。なによりも感動するのは、生徒らの「劇的な成長」です。2日目の午後、ソーラン節を高山陣太鼓の方々に教わり、その夜の発表会直前に、学年職員から伝統の「寛中ソーラン節法被」を一人ひとり手渡して授かってからは、みんなの表情が一変し、まさしく寛政中学校の顔となる瞬間を目の当たりにすると、身震いするほどの感動を受けます。バスのドライバー・ガイドさんや民宿の方々が、発表会を終えた後、「大変素晴らしかった。」「感動して鳥肌が立ちました。」等のお褒めのお言葉をいただきました。3年生はものの数時間で逞しく成長し、大きな自信を得ました。きっと体育祭当日は下級生にはもちろん、観客の皆様にも大きな感動を与えられることを確信しています。

生徒諸君は、校内では授業に、生徒会活動、体育祭の準備、部活動に積極的に取り組んでいます。様々な活動に本気で取り組み、今までの自分をさらに成長させる希望ある令和元年の「改革」の5月を迎えています。

6月15日(土)、第58回体育祭が開催されます。体育祭実行委員長を中心に、赤色リーダー、白色リーダー、黄色リーダー、青色リーダーら5人が一致団結して、各色、各学年をまとめ、素晴らしい体育祭を創りあげてくれるでしょう。まもなく、決定する令和元年度の体育祭スローガンもどんなものになるのか楽しみです。私は4色には属せず、全体を応援する立場です。学年種目や、競技、エイサー、組体操、寛中ソーラン節で、是非躍動する姿を保護者の皆様や地域の方々に見せてください。期待しています。

しゅうがくりょこう ねんせい 修学旅行 (3年生) ~3RのKJS~

K こうりゅう 交流を深める

J じしゅじりつ 自主自立してメリハリをつける

S しぜん 自然を感じる

3学年主任 綿貫芳人

5月14日(火)～16日(木)に岐阜県飛騨高山方面へ行ってきました。みんなが待ちに待った修学旅行！生徒達は行く前から、わくわくした気持ちが溢れていました！私の気持ちはと言うと、生徒全員が各民宿で安心して過ごすことができ、何よりも安全に帰ることができるか。(ミッション①)そのことばかりを考え、緊張してこの日を迎え、鶴見駅まで無事に帰って来たときは本当に安心しました。次に、みんなが飛騨高山の自然を堪能し、現地の人々とのたくさんの触れ合いを大切にして欲しい。(ミッション②)この目に見えない「お土産」をしっかりと持って帰る。そしてみんなの自主性が育つこと。(ミッション③)そんな期待を込めた修学旅行でした。



1日目は、あいにくの雨傘。みんなは雨にも負けず、世界遺産の白川郷をグループで散策しました。傘を持っていない生徒もいましたが、お土産で売っている笠帽子(左の写真)や、日本刀風折りたたみ傘を買い、展望台(上の写真)を目指しました。展望台から見下ろす合掌造りの風景は、昔の人たちが自然と共存するために造り出した「叡智の結晶」でした。途中、飛騨牛入りコロッケ・メンチ、飛騨牛串、ソフトクリームなども堪能しながらバスへ戻り、各民宿がある高山市に向かいました。それぞれの宿には独特の趣があり、みんなは大はしゃぎ！学校や家庭では決して見せることのない表情が印象的でした。

2日目は、朝から快晴☀️。田植えの時間です。眠そうな顔の人達もひとたび田んぼに素足を踏み入れると、叫び声と共にたちまちみんなのテンションが上がりました。



やっぱり自然の力はすごいと痛感しました！みんなが植えた苗の成長は約1ヶ月ごとに送られてくる写真で見ることができるようです。また、順調に育てば秋に収穫されるお米も届く予定になっています。日本一の高山のお米をおにぎりでみんなと食べる日が楽しみです！



そのあとは、イワナのつかみ取りの時間です。きやあきやあ言いながら、きれいな川に放流されたイワナを素手で捕まえます。次に捕まえたイワナを安全カミソリでお腹を開き内臓を取り出します。慣れた手つきで作業する人、「先生！無理、無理、無理！」と腰が引けている人など様々でしたが、塩焼きにしてもらいみんなでおいしくいただきました！午後からは、ソーラン節の練習です。「高山陣屋太鼓」



の演奏を鑑賞し、その方々からソーラン節を教わりました。たくさん練習をし、夕食後の発表の時間では、寛政中学校伝統の法被を受け取ると、表情が引き締まりました。練習の時とは全く違う、熱い魂のこもったソーラン節を民宿の方々の前で発表することができました。子ども達の溢れるエネルギー、無限に感じるパワーに感動しました！体育祭では、さらに完成度を上げ、多くの人達を感動させられる演技が期待できそうです。

最終日は、高山市内の散策です。古い町並みを歩きながら、飛騨牛の握り寿司、高山ラーメン、そばなどを食べて過ごシバスで名古屋駅に向かいました。

この修学旅行で、生徒も職員もたくさんの思い出を作りました。そしてたくさん学びました。みんなが「目に見えない一生の宝物」を持って帰ることができていたらこんなにうれしいことはないと思っています。



とうきょうけんがく お 東京見学を終えて

だい 2 学年主任 まえはら しゅうじ
第2学年主任 前原 秀司

とうきょうけんがく
東京見学スローガン

① れ いせいに判断し ② い いろいろな人と交流し ③ わ かりあおう

とうきょうけんがく
～ 東京見学2019 ～

2年生最初の学年行事である東京見学が終わりました。事前学習では班毎に、ガイドブックやパソコンを使い、見学場所のガイドマップを作りました。また、鶴見駅からの行程を考え、決まった時間の中で再び戻ってくるための、電車の乗り継ぎ方法と所用時間、経費などタブレットを使って調べました。見学場所での時間をどのくらいにしようか、また、昼食はどこで食べようかなど、みんなが納得しない限りこのコース表は作れません。一人ひとりがわがまを抑え協力することで、それぞれの考えを一つにまとめることができました。

17日(金)当日は青空が広がる中、全ての班が出発時間に遅れることなく、第1チェックポイントである鶴見駅に集合することができました。ここから、それぞれの見学場所に分かれていきます。



上野に向かう班や、お台場を目指す班、浅草方面や、東京駅、東京タワー、秋葉原、月島、スカイツリーなど様々です。東京は活気に満ちていました。人があふれ、多くの外国人が観光に訪れていて、様々な母国語が飛び交ってました。それに答える店員さんがいて、ピクトグラムや標識、ディスプレイが飾られるなど、インバウンド対策が定着し、来年の東京オリンピック・パラリンピックへの準備が着々と進んでいる様子が感じられました。

昼食の前後の時間に浅草雷門付近と、お台場ダイバーシティ東京のどちらかの第2チェックポイントを通過することになっています。横浜から遠く離れた場所まで班で協力して辿り着いたみんなの顔は、とてもすがすがしく笑顔であふれていました。班毎に写真を撮り無事に戻ってくるよう伝えると、再び行ってきますとそれぞれの目指す方向に分かれていきました。

第3チェックポイントである鶴見駅に帰ってくるまでに、そこで出会った様々な方との交流を通して、また一つ大きく成長することができました。時間どおりに戻ってきた班は、どこか誇らしげで、少し日焼けをした顔がたくましく感じられました。以下は、生徒達の感想の一部です。

東京は、買い物ができる場所が多く、いたる所に海外の方がいました。外国の方に話しかけ、インタビューをし、交流を深めることができました。

それぞれのお店で外国人も過ごしやすくなるよう、色々な言語で書かれていたり、音声案内が設置してあったりして驚きました。計画通りにいかないこともありましたが、臨機応変に対応することができました。

東京には、人を引き寄せる建造物や観光名所が多く、外国人の人数に驚きました。みんなでどっちに進めばいいのかをマップを見ながら確かめながら動くことができました。



ひゃっかりょうらん 百花繚乱 ~みんな違ってみんないい~

かんが ちょうせん
考える、挑戦する、
みと い
認める、ともに生きる

こうがいがくしゅう わんせい がつ
~校外学習(1年生) 5月10日~

ちゅうがっこうでの初めての校外学習は、今年度から新たな場所になり、ドキドキとワクワクの連続でした。公園全体を使ったポイントラリーでは、公園の広さや新緑の綺麗さ、鳥やリスや蛇など生き物の身近さを感じ、たくさんの新鮮な驚きに出会うことができました。

また、野外炊事では試行錯誤をしながら、薪を割ったり火をつけたりして、カレーを完成させました。苦労したからこそ、いつもよりカレーがおいしく感じたのではないかと思います。

学年のレクでは、協力し合い楽しみました。クラス対抗の大縄跳びでは、なかなか跳ぶことができなかった時にもマイナスの発言ではなく、温かい言葉を投げかけてあげられる姿に感動しました。

(以下は生徒の振り返りより)

○あまり仲が良くなかった人ともスムーズに話せるようになったので良かったと思えました。

○カレーを作っているときにとなりの班の子たちとも関わってとても良かったです。班の人たちと協力してごはんを美味しく作りました。作れたので最高の校外学習になりました。

○大縄では練習のときはとべなかったけど、みんなが声かけあったり協力したら、本番になったら結構たくさん飛べたから楽しかったし嬉しかった。



○ポイントラリーでちゃんと時間を守って行動できたので良かったと思えました。

○他の小学校の友だちと仲良くできて楽しく話せたので良かったです。バスの中で少しうるさかったけど楽しかったです。

○班でカレーを作るときにそれぞれ係で仕事が一度終わり、時間があいても、他のところを手伝って協力できました。そのためカレーを一番早く作れました。少しスープのようになったけど、すごく楽しかったです。



おもな6月の予定

6/5(水) 3年進路保護者説明会

/15(土) 第58回体育祭

/20(木) 眼科検診

/21(金) 部活動壮行会